

〈第1号議案〉 2017年度事業報告

事業報告

2017年4月1日から2018年3月31日まで

一般社団法人 日本科学機器協会が、2017年度に実施した事業その他について、次の通り要約して報告いたします。

〔組織と人事〕

1. 会員異動

〈協会名〉	〈期首〉	〈期末〉
東京科学機器協会	339社	339社
大阪科学機器協会	214社	216社
京都科学機器協会	107社	104社
東海科学機器協会	102社	104社
九州科学機器協会	83社	88社
北海道科学機器協会	41社	40社
東北科学機器協会	64社	66社
中四国科学機器協会	75社	77社
信越科学機器協会	24社	25社
北陸科学機器協会	37社	36社
合計会員数	1,086社	1,095社

2. 理事・監事・名誉会長・相談役

会長	矢澤 英人	監事	入江 一光
副会長	荒木 利一	々	志智裕之介
々	櫻井 勲	々	下平 克彦
々	高木 裕明		
々	森田 庸一	名誉会長	入江 照四
々	横沢 龍朗		
々	佐藤 正幸	相談役	櫻木 惇雄
々	古太刀利文	々	平井 賢一
々	勝野 桂尚	々	柴田 晴通
々	勝木 繁	々	早坂 恭二
々	佐藤 紀一	々	津坂 武昌
々	長谷川壽一	々	岡野 忠弘
財務理事	増田 太郎	々	濱地 聖
々	柴田 眞利	々	八神 基
専務理事	藏満 邦弘		
理事	札幌 勇二		
々	井内 卓嗣		
々	森澤 元博		
々	伊藤弘一郎		

3. 委員会

(1) 展示会委員会 (18名)

委員長：佐藤紀一
副委員長：柴田眞利 南 明則
委員：青柳喜彦 竹田 景 石井博高 竹越万里子
尾形雅広 北村英樹 鎌田健嗣 小磯隆次
小川 光 渡辺 徹 佐野賢二 塚越猛典
遠藤 聡 青井和夫 伊藤弘一郎

(2) 技術委員会 (23名)

委員長：入江 一光
副委員長：下平克彦 野木賢一
委員：関谷幸樹 富山裕明 平田紀行 遠藤智義
國井康裕 栗田宣義 杉山大介 森井俊秀
札幌勇二 明石好蔵 岡野裕史 中川博一
高着泰則 徳重寛行 齊藤勝英 田上伸一
古太刀利文 波多間勝次 関 博司 野原 悟

(3) 経済委員会 (5名)

委員長：志智裕之介
副委員長：佐藤文俊
委員：富山裕明 西岡光利 福島 亮

(4) 広報委員会 (14名)

委員長：柴田眞利
副委員長：南 明則 佐藤文俊
委員：野木賢一 高橋秀雄 野村篤史 小島由美子
若井田健文 志智亮介 夏目知佳子 鈴木裕之
筒井紫乃 戸嶋友哉 谷尾俊昭

(5) 国際委員会 (9名)

委員長：下平克彦
副委員長：入江一光
委員：関谷幸樹 高島次郎 富山裕明 鵜殿直子
中川洋祐 川本 潔 王 維一 (臨時委員)

(6) 規約委員会 (7名)

委員長：長谷川壽一
副委員長：入江一光
委員：増田太郎 志智裕之介 佐藤文俊 高橋秀雄
平田紀行

[会 議 等]

次の通り総会、理事会、委員会等を開催した。

1. 通常総会・臨時総会

(1) 第6回通常総会

- ・日 時： 2017年6月23日 15:30～16:30
- ・会 場： 浜松町 東京會館 39F 「オリオンルーム」
- ・出席者： 26名

承認議案は次の通り

- 第1号議案 2016年度事業報告
- 第2号議案 2016年度収支決算報告
- 第3号議案 2017年度事業計画(案) 審議
- 第4号議案 2017年度収支予算(案) 審議

(2) 臨時総会

- ・日 時： 2018年1月9日 14:20～14:40
- ・会 場： グランドプリンスホテル高輪 2F「鈴蘭」
- ・出席者： 25名

承認議案は次の通り

- 第1号議案 2018年度第一四半期(4月～6月)の事業計画(案) 審議
- 第2号議案 2018年度第一四半期(4月～6月)の暫定予算(案) 審議

2. 理事会(定例理事会・臨時理事会)

(1) 定例理事会

- ・日 時： 2017年6月23日 14:00～15:25
- ・会 場： 浜松町 東京會館 39F 「オリオンルーム」
- ・出席者： 24名

- 【議事】
- ① 年度内における理事会・総会等の開催予定確認
 - ② 第6回総会の議案確認の件
 - ③ 「JASIS 2017」開催の件
 - ④ 「JASIS 関西」開催の件
 - ⑤ 「分析機器・科学機器遺産認定」書籍発行の件
 - ⑥ 「第24回最新科学機器展」開催の件
 - ⑦ 「科学・分析機器総覧2017」(委託事業)の件
 - ⑧ 委員会報告
 - ・経済委員会
 - ・技術委員会
 - ・国際委員会
 - ・広報委員会
 - ⑧ 各地区協会の行事
 - ・東京科学機器協会法人化の件

(2) 臨時理事会

- ・日 時： 2017年9月5日 15:30～17:00
- ・会 場： 東京科学機器協会 会議室
- ・出席者： 21名

- 【議事】
- ① 「JASIS 2017」開催と関連スケジュール
 - ② 2018年1月の理事会・臨時総会及び講演会・賀詞交歓会開催の件
 - ③ 「科学・分析機器総覧 2017」印刷版・DVD版完成の報告
 - ④ 「分析機器・科学機器遺産」記念本の刊行及び配布の件
 - ⑤ 委員会活動報告
 - ・経済委員会
 - ・技術委員会
 - ・広報委員会
 - ・国際委員会
 - ⑥ 各地区での科学機器展開催の件
 - ・「第24回最新科学機器展」開催の件
 - ・「JASIS 関西」開催の件

(4) 定例理事会

- ・日 時： 2018年1月9日 14:00～15:30（臨時総会開催のため、一時中断）
- ・会 場： グランドプリンスホテル高輪 2F「鈴蘭」
- ・出席者： 25名

- 【議事】
- ① 「2018年新春講演会・賀詞交歓会」の概要及びタイムスケジュールの件
 - ② 2018年6月の理事会・総会の開催日程の件
 - ③ 2018年度第一四半期(4月～6月)の事業計画(案)と暫定予算(案)の審議
 - ④ 「JASIS 2017」終了報告／「JASIS 2018」・「JASIS 関西 2019」開催の件
 - ⑤ 「第24回最新科学機器展」開催の件
 - ⑥ 「分析機器・科学機器遺産」記念本の刊行及び配布の件
 - ⑦ 「科学・分析機器総覧」の件(委託事業)
 - ⑧ 委員会報告
 - ・経済委員会報告
 - ・技術委員会報告
 - ・国際委員会報告
 - ・広報委員会報告
 - ・規約委員会報告

3. 委員会等

(1) 展示会委員会

当期中に3回開催した。

なお、当期中に「JASIS 2017」委員会を7回開催し、「JASIS 2018」委員会を5回開催した。

(2) 技術委員会

当期中に3回開催した。

- (3) 経済委員会
当期中に4回開催した。
- (4) 広報委員会
当期中に12回開催した。
- (5) 国際委員会
当期中に4回開催した。
- (6) 規約委員会
当期中に12回開催した。

〔事業活動概要〕

1. 「JASIS 2017」開催

(一社) 日本分析機器工業会との共同主催による「JASIS 2017」を次の通り開催, 盛況裡に終了した。

◆ 「JASIS 2017」

- ・会 期 : 2017年9月6日～8日
- ・会 場 : 幕張メッセ国際展示場(4～8ホール), 国際会議場 他
- ・出展者数 : 506社/機関(前回:504社/機関)
- ・出展小間数 : 1,478小間(前回:1,468小間)
- ・入場者数 : 24,856名(前回:24,381名)

	人 数	天 気
初 日	8,413 人	雨時々曇
二日目	8,291 人	晴時々曇
最終日	8,152 人	曇後晴
総 計	24,856 人	

【併催イベント】

- (1) 新技術説明会・・・347テーマ(101社) / 聴講者数 16,001人(3日間)
- (2) JASIS コンファレンス・・・50テーマ(32団体) / 聴講者数 約4,507人(4日間)
- (3) 特別セミナー「分析・科学機器と日本薬局方」 / 聴講者: 約483人(9月7日)
- (4) サイエンスセミナー・・・「アインシュタインの奏でる宇宙からのメロディ」
— KAGURA の挑戦と重力波天文学が解き明かす宇宙の謎 —
/ 聴講者 285名(9月8日)

- (5) 特別企画「オープンソリューションフォーラム」／聴講者数延べ1,600人以上
「環境規制」,「食品のおいしさ評価」,「自動車」の3テーマ
基調講演:6テーマ, 出展企業発表:19テーマ
- (6) 特別企画「ライフサイエンス イノベーション ゾーン」 基調講演(3日間)
 - ・9月6日(延べ聴講者数:1,133人)
テーマ:「次世代ヘルスケア」,「ICTの新しい波と薬づくりの未来」
 - ・9月7日(延べ聴講者数:1,621人)
テーマ:「AI/DLのバイオサイエンスへの応用価値」,「中分子創薬への分析機器」
 - ・9月8日(延べ聴講者数:1,570人)
テーマ:「21世紀の人口爆発とデータ爆発」,「クライオ電顕:タンパク質単粒子解析の役割」
- (7) 科学実験ショー／やさしい科学機器入門／分析化学教育用DVD 上映

2. 「JASIS 2018」の開催準備活動

(一社)日本分析機器工業会と共同主催する展示会の実務・運営に従事する「JASIS 2018」委員会に委員を派遣して準備活動を行なった。

出展募集に当たっては、平成30年1月に開催要項を作成、前回の出展者や各地区協会会員企業のほか非会員企業にも配布するなど、広く出展募集活動を行った。このほか、機関誌、ホームページ、e-mailなどを利用して、本展の広報・PRに努めた。

「JASIS 2018」開催概要

- ・ 会 期： 2018年9月5日(水)～7日(金) (3日間)
- ・ 会 場： 幕張メッセ・国際展示場4・5・6・7・8ホール
- ・ 主 催： (一社)日本科学機器協会／(一社)日本分析機器工業会
- ・ 展示規模： 478社・機関／1,447小間(前回:490社・機関／1,461小間)
(6月13日現在)

3. 「分析機器・科学機器遺産」記念本の刊行と配布

(一社)日本分析機器工業会との共同事業として、科学機器や文献等の内歴史的に重要な文化的遺産を後世に伝えることを目的に、「科学機器・分析機器遺産」の認定制度を設け、2012年から2016年まで全5回に亘って認定した製品77点の紹介記事をまとめて、2017年8月に4,000部を刊行。「JASIS 2017」の会場で無料配布したほか、関係学会・関連団体、国会図書館、大学図書館等へ広く進呈した。なお、希望者には有料(実費@1,500円)配布中。

4. 「科学・分析機器総覧2017」印刷版・DVD版発行・配布(委託事業)

(一社)日本分析機器工業会との共同発行事業として、東京科学機器協会に「科学・分析機器総覧2017」(印刷本A4版&B5版:17,000部/DVD版:7,500枚)の制作及び配布を委託し9月に刊行、「JASIS 2017」や「センサエキスポジャパン2017」の会期中、各会場で来場者の内希望者に無料配布した。また、本会の全会員並びに(一社)日本分析機器工業会の会員に配布したほか、会員を通じて全国の主要ユーザーに広く配布したのをはじめ、官公庁、関係学会・団体、図書館、ASICの加盟団体に寄贈した。

5. 技術振興に係る事業

当期中、次の事業活動を行った。

(1) 「科学機器学習教室」を開催

①第1回(2017-1)「真空の使い方と薄膜など真空機器」

- ・日 時 : 2017年5月17日 13:00~17:00
- ・会 場 : 中央大学 駿河台記念館 670号室
- ・講 師 : 木ノ切恭治氏 (真空テクノサポート代表・元日本真空工業会専務理事)
- ・受講者 : 19社/31名

②第2回(2017-2)「科学機器と真空利用, 真空ポンプ・真空装置と真空関連機器」

- ・日 時 : 2017年8月2日 13:00~17:00
- ・会 場 : 中央大学 駿河台記念館 670号室
- ・講 師 : 木ノ切恭治氏 (真空テクノサポート代表・元日本真空工業会専務理事)
- ・受講者 : 17社/29名

③第3回(2017-3)「食品・製薬分析と臨床検査分野分析」

- ・日 時 : 2017年10月18日 13:00~17:00
- ・会 場 : 中央大学 駿河台記念館 670号室
- ・講 師 : 久本泰秀氏 (元日立製作所/元 JAIMA 技術委員長)
- ・受講者 : 22社/33名

④第4回(2017-4)「環境(水質・大気・土壌)分析」

- ・日 時 : 2017年12月7日 13:00~17:00
- ・会 場 : 中央大学 駿河台記念館 670号室
- ・講 師 : 久本泰秀氏 (元日立製作所/元 JAIMA 技術委員長)
- ・受講者 : 11社/19名

【各地区での開催に協力】

⑤ 北海道科学機器協会主催 科学機器学習教室 2017

— 知っておきたい科学機器業界の基礎知識 —

「環境分析・食品分析・臨床検査分野分析を取り巻く科学機器の基礎知識」

- ・日 時 : 2017年9月22日 13:00~17:00
- ・会 場 : 札幌総合卸センター共同会館
- ・講 師 : 久本泰秀氏 (元日立製作所, 元 JAIMA 技術委員長)
- ・受講者 : 7社/16名

⑥九州科学機器協会主催 科学機器学習教室 2017

「科学機器と真空ポンプ・真空計測器と真空関連機器」

- ・日 時 : 2017年10月12日 13:30~17:30
- ・会 場 : 博多スターレーン
- ・講 師 : 木ノ切恭治氏

- ・受講者： 17/35名
- (2) 東京理科大学の「見学会と講演会及び研究者と会員の交流会（第7回）」を開催
（産学連携研究会）
- ・日 時： 2017年6月30日 13:00～19:00
 - ・会 場： 東京理科大学 野田キャンパス
 - ・参加人数： 21社/26名
- (3) 「毒物劇物取扱者資格試験」受験準備講習会を開催
（（公社）日本理科教育振興協会・（一社）日本教材備品協会と共催）
- ・会 期： 2017年7月28日～8月2日（6日間）
 - ・会 場： 大妻女子大学
 - ・講 師： 基礎 谷川貴信 先生（多摩大学目黒中・高等学校 教諭）
法規 戸井崎 茂 先生（東京都鍍金工業組合 環境科学研究所）
各論 志賀孝作 先生（東京都鍍金工業組合 元所長）
 - ・受 講 者： 18社/19名（うち、日科協会員 3社/3名）
- (4) （独）理化学研究所 播磨事業所「Spring 8/SACLA」（大型放射光施設）の見学会
及び講演会を開催
- ・日 時： 2017年8月18日 13:00～19:00
 - ・場 所： （独）理化学研究所 放射光科学総合研究センター（兵庫県）
 - ・参加人数： 35社/48名
- (5) 産総研の『講演会及び研究者と会員の交流会（第7回）』を開催
（産学連携研究会）
- ・日 時： 2017年11月28日 13:00～19:00
 - ・会 場： （国研）産業技術総合研究所 中央第1サイエンススクエア
 - ・参加者： 22社/37名
- (6) 「中小企業向けのサイバーセキュリティ対策の基礎セミナー」を開催
- ・日 時： 2018年3月28日 15:00～16:00
 - ・会 場： 東京科学機器協会 会議室
 - ・講 師： 経済産業省 サイバーセキュリティ課 課長補佐
石見賢蔵 氏
 - ・参加費： 無料
 - ・参加者： 19社/22名
- (7) IEC（国際電気標準会議）の技術関連業務に関する情報収集に努めた。
- (8) 業界標準EMS構築「ISO 14001 認証取得支援事業」の実施
（一社）産業環境管理協会と提携して、本会版標準EMS（環境マネジメントシステム）
による会員企業の「ISO 14001」認証取得のための募集を行った。

6. 経済活動に係る事業

当期中、次の事業活動を行った。

(1) 「2017年 宿輪純一氏 経済講演会」を開催

- ・日 時 : 2017年4月13日 15:30~17:00
- ・会 場 : (株)堀場製作所 東京支店内 プレミアム・ルーム
- ・講 師 : 宿輪純一氏 (帝京大学 経済学部 教授)
- ・テ ー マ : 2017年経済・金融はどうなる
- ・受 講 者 : 28社/52名

(2) 「中小企業経営強化税制・固定資産税特例」に関する説明会を開催

- ・日 時 : 2017年5月18日 10:00~12:00
- ・会 場 : 中央大学 駿河台記念館
- ・説 明 者 : 中小企業庁 事業環境部 係長 横倉幹人氏
- ・受 講 者 : 20社/31名

(3) 2017年度 経営者セミナーを開催

「親族に跡を継がせる秘訣教えます」・「家業を継ぐ秘訣教えます」
～ファミリービジネスの事業承継(4回シリーズ)～

- ・日時とテーマ : 時間:15:00~17:00

回数	日程	テーマ
第1回	9月22日	日本のファミリービジネスの現状/ファミリービジネスの強み
第2回	10月19日	「ザ・武将」 戦国武将に見るお家の承継
第3回	11月27日	自社の取り組み課題を発見するワークショップ
第4回	12月13日	事業承継の5つのステップ

- ・会 場 : 東京科学機器協会 会議室
- ・講 師 : (一社)日本ファミリービジネスコラボレーションセンター
立花副理事長, 本間副理事長, 神戸理事

(4) 「新春講演会」を開催

- ・日 時 : 2018年1月9日 16:00~17:00
- ・会 場 : グランドプリンスホテル高輪 B1F「クラウンルーム」
- ・講 師 : 藤嶋 昭 先生 (東京理科大学 学長)
- ・テ ー マ : 「感動しながら挑戦しよう!」~3人一組, 一人3役~
- ・受 講 者 : 224名

(5) 「価格交渉サポートセミナー」を開催

- ・日 時 : 2018年2月21日 15:00~17:00
- ・会 場 : 中央大学 駿河台記念館 430号室
- ・講 師 : 加藤敦子氏 (中小企業診断士)
- ・受 講 者 : 29社/50名

(6) 実勢景況調査を実施

本会が毎年実施する実勢景況調査のため、当業界の景気動向調査を行い、その集計結果を機関誌「科学機器」に掲載し、会員への情報提供を行った。

- (7) 会員実態調査を実施
4年毎に実施する会員実態調査集計結果を報告書としてとりまとめ全会員へ送付し、またダイジェスト版を機関誌5月号に掲載し、会員への情報提供を行った。
- (8) 「生産性向上設備投資促進税制」および「中小企業経営強化税制」の証明書発行手続き業務を実施
本会は、「試験又は測定機器」、「工具」の証明書発行団体となっており、本年度も証明書発行業務を行い、年度内に258件（64社）に証明書を発行した。

7. 広報に係る事業

当期中、次の事業活動を行った。

- (1) 本会の機関誌「科学機器」を毎月1,750部発行（No. 826～837）して、全国の会員をはじめ官公庁・関係学会・関連機関等に配付した。
- (2) 会員名簿の補正・案内
2016年8月に作成した会員名簿の補正を行い、会員をはじめ関係機関等に案内した。また、ホームページにも引き続き転載した。
- (3) 日科協パンフレットの配布
本会の紹介パンフレット（日本語・英語併記版）を、広く国内関係機関、海外関係団体等へ配布した。
- (4) 経済産業省ハンドブックをはじめ、関係学会・業界誌紙への広告掲載等を行ない、科学機器業界の広報・PRに努めた。
- (5) ホームページに、「JASIS 2017」や「JASIS 2018」等の情報を掲載したほか、技術情報・各種研究開発助成金制度や関連法規制に関する情報や関係諸官庁からの告知を行うなど、会員企業にとって必要な最新情報を掲載した。また、内外からのアクセスに対してはe-mailによる回答や情報の発信を行った。
URL : <http://www.sia-japan.com>
- (6) 当期中に、関係省庁・関係学会及び関連団体等から入手した各種情報の内、必要事項について機関誌「科学機器」に掲載したほか、e-mailにより示達を行った。
- (7) 前年度に引き続き、本年度もPL法関連の警告ラベルを随時会員に頒布した。

8. 国際交流に係る事業

当期中、次の事業活動を行った。

- (1) 「海外ビジネスの基本セミナー」（第9回）と「情報交換会」を開催
・日 時 : 2017年7月5日 14:00～19:00

- ・会 場 : TKP 神田駅前ビジネスセンター (東京都千代田区)
- ・講 師 : 太田光雄 氏 (中小機構 国際化支援アドバイザー)
- ・テ ー マ : 海外ビジネスの基本と米トランプ政権が通商に与える影響
- ・受 講 者 : 15 社/26 名

(2) 「JASIS 2017」期間中の事業

① 第 17 回アジア科学機器業界団体会議(ASIC) を開催

- ・日 時 : 2017 年 9 月 6 日 11:30~13:30
- ・会 場 : 幕張アパホテル「コートダジュール」
- ・出席者 : (一社)日本科学機器協会(JSIA) 24 名
 台北市儀器商業同業公會 (TICA) 5 名
 高雄市儀器商業同業公會 (KICA) 5 名
 韓国科学機器工業協同組合 (KSIIC) 4 名
 タイ・Science and Technology Trade Association(STTA) 1 名

② 「PITTCON Committee」来日メンバーとのミーティングを開催

- ・日 時 : 2017 年 9 月 7 日 11:30~13:30
- ・会 場 : ホテルニューオータニ幕張
- ・出席者 : (一社)日本科学機器協会(JSIA) 6 名
 PITTCON Committee 5 名

③ 東京理科大学 在籍の方 (留学生等) への「JASIS2017 見学会」を開催

- ・日 時 : 2017 年 9 月 8 日 11:30~14:00
- ・参加者 : 13 人 (留学生/学生 12 人, 大学関係者 1 人)

(3) 「海外ビジネスの基本セミナー」(第 10 回) と「情報交換会」を開催

- ・日 時 : 2018 年 1 月 24 日 14:00~19:00
- ・会 場 : TKP 神田駅前ビジネスセンター (東京都千代田区)
- ・講 師 : 有坂 亨 氏 (中小機構 国際化支援アドバイザー)
- ・テ ー マ : 海外展開の魅力と一歩踏み出すコツ
 ~グローバル社会でのチャンスとリスク~
- ・受 講 者 : 18 社/30 名

(4) 「PITTCON 2018 (ピッツバーク カンファレンス)」出展及び調査研修ツアー実施

- ・ツアー期間 : 2018 年 2 月 25 日~3 月 3 日 (7 日間)
- ・旅行企画・実施 : 東武トップツアーズ(株)
- ・参加者数 : 10 社/17 名
- ・展示会会場 : アメリカ・フロリダ州・オーランド Orange County
 Convention Center
- ・展示会会期 : 2018 年 2 月 27 日~3 月 1 日

(5) 「JETRO 貿易実務オンライン講座」に協力

日本貿易振興機構(ジェトロ)と団体契約を継続, 2017 年度の 6 期において, JETRO 貿易実務オンライン講座に協力した。

9. 団体定期保険（グループ保険）制度の継続

会員企業の福利厚生の実を充実することを目的に受託生命保険会社5社（幹事会社；第一生命保険株）の協力を得て、1997年2月に旧日科連が導入した団体グループ保険制度を継続し、更新を行った。（2018年5月末現在加入数／144社 3,025名）

10. 団体PL（製造物責任）保険制度の継続

1995年に東京科学機器協会が導入した団体PL（製造物責任）保険制度を旧日科連の後を受けて引き継ぎ、制度の更新を行なうと共に、会員企業の有効利用に寄与した。（2018年5月末現在加入数／47社）

11. 官公庁・学界・団体等との協調及び協力

当期中、官公庁からの調査依頼・周知依頼等に対して協力したほか、関係学会・関連団体・報道関係が開催する各種展示会・シンポジウム・セミナー等に後援及び協賛した。また関係する官公庁・学界・団体と連絡を密にし協調を図ると共に会の発展に努めた。当期中に後援・協賛したイベント等は以下の通り。

- (1) 「CPhI Japan 2017（国際医薬品原料・中間体展）」・・・（日科協後援）

【併催】

ICSE Japan 2017（製薬業界受託サービスエキスポ）

P-MEC Japan 2017（医薬品原料 機器・装置展）

BioPh Japan 2017（バイオフィーマージャパン）

InnoPack Japan 2017（DDS・医薬品包装展）

- ・会 期： 2017年4月19日～21日
- ・会 場： 東京ビックサイト
- ・主 催： 株化学工業日報社、UBM ジャパン株

- (2) 欧州連合主催「EU Green Gateway to JAPAN」プロジェクト・・・（日科協協賛）

EU域内の国々に本社機能を有し「建設」・「エネルギー」・「環境」・「医療機器」・「鉄道技術」の5つの分野で革新的な技術・製品を保有する中堅・中小企業の方が来日し、「ブリーフィングセミナー」・「現地視察」・「展示会出展およびビジネスマッチング」等を行う。

- ・期 間： 2017年7月～2019年12月
- ・場 所： 東京（EU企業が12回にわたり訪日する予定）
- ・主 催： 欧州連合（EU）
- ・運営事務局：（一社）日本能率協会 産業振興センター

- (3) 真空技術基礎講習会「第23回 真空ウォーキングコース」・・・（日科協協賛）

- ・会 期： 2017年8月28日～9月1日
- ・会 場： 学校法人 工学院大学 八王子キャンパス
- ・主 催： 日本真空工業会

- (4) 「VACUUM 2017 真空展」・・・(日科協 協賛)
- ・会 期： 2017年9月6日～8日
 - ・会 場： パシフィコ横浜
 - ・主 催： 日本真空工業会・(一社) 日本真空学会
 - ・共 催： 日刊工業新聞社
- (5) 「センサ エキスポ ジャパン 2017」・・・(日科協後援)
- ・日 時： 2017年9月13日～15日
 - ・会 場： 東京ビックサイト
 - ・主 催： フジサンケイビジネスアイ
- (6) 「新価値創造展 2017」・・・(日科協 後援)
- ・会 期： 2017年11月15日～17日
 - ・会 場： 東京ビックサイト
 - ・主 催： (独) 中小企業基盤整備機構
- (7) 「HOSPEX JAPAN 2017」(第46回日本医療福祉設備学会 併設展示会)
・・・(日科協 協賛)
- ・会 期： 2017年11月20日～22日
 - ・会 場： 東京ビッグサイト
 - ・主 催： (一社) 日本医療福祉設備協会・(一社) 日本能率協会
- (8) 日本化学会 第98春季年会(2018) 付設展示会・・・(日科協後援)
- ・日 時： 2018年3月20日～22日 10:00～17:00
 - ・会 場： 日本大学 理工学部 船橋キャンパス(船橋市)
 - ・主 催： (公社) 日本化学会

12. 交流・懇親に係る行事

当期中、次の事業活動を行った。

- (1) 第6回通常総会当日、出席者懇親会を開催
- ・日 時： 2017年6月23日 17:30～19:30
 - ・会 場： 浜松町 東京會館 38F 「離宮」
 - ・出席者： 31名
- (2) 臨時総会当日、出席者懇親会を開催
- ・日 時： 2017年9月5日 17:30～19:00
 - ・会 場： 舟寿し
 - ・出席者： 23名
- (3) 平成29年賀詞交歓会を開催
- ・日 時： 2018年1月9日 17:30～19:15
 - ・会 場： グランドプリンスホテル高輪 B1F 「プリンスルーム」
 - ・出席者： 315名(来賓38名を含む)

13. 社会貢献活動

- (1) 「平成29年度計量記念日全国大会」に協賛・協力
計量記念日組織委員会の協賛団体として、主務官庁・(一社)日本計量振興協会をはじめ関係団体と協力して標記大会を開催,幅広く計量への意識を喚起するとともに関係者相互の連携強化を図り,次のイベントに協力した。

● 「計量啓発標語」 & 「なんでもはかってみようコンテスト」

- ・会 期： 2017年11月1日
- ・会 場： ホテル インターコンチネンタル東京ベイ
- ・主 催： 計量記念日組織委員会

14. その他

関係学会及び関連団体との情報交換と交流を密にして,業界の発展に努めた。

以上